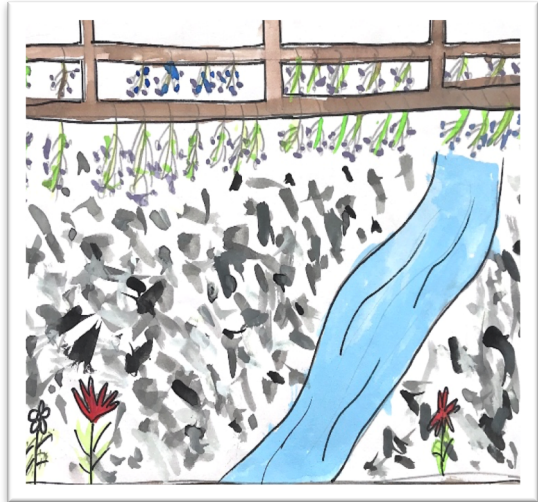


津房の風景

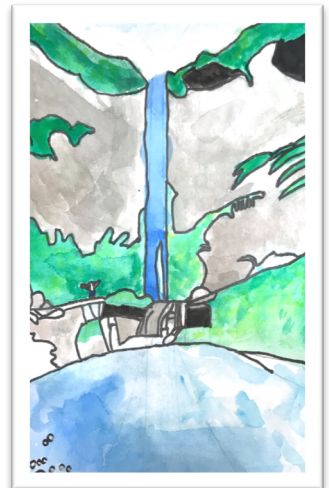
この計画書に使用している風景や人物のイラストは、津房小学校の児童の皆さんが描いてくれました。



岩田陽菜さん



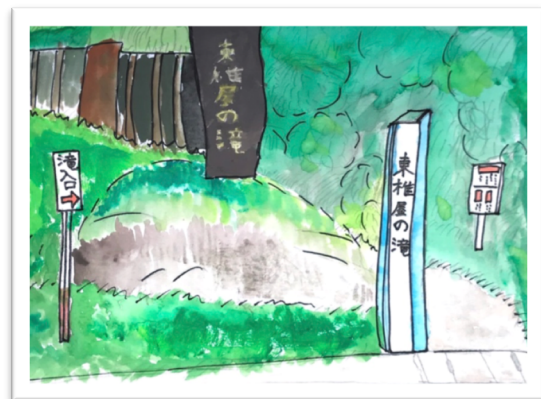
佐藤ひかりさん



大石凜穂さん



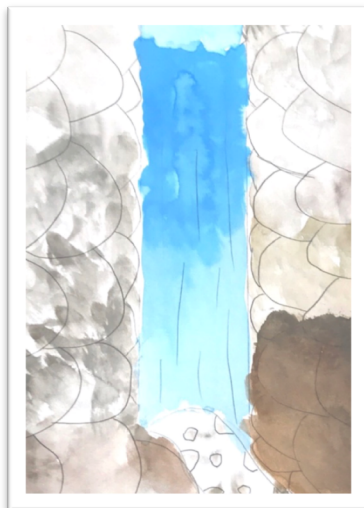
樽松落さん



遠嶋蒼空さん



熊楚御堂由真さん



小野伶美さん



岩田慈音さん

目次



藤田雅姫さん

佐藤健大さん



熊埜御堂蒼真さん



小島琥子さん



渡辺琉生さん

1. はじめに・・・・・・・・・・P3
2. まち協っち、何なん？・・P4
3. 10年のふりかえり・・・・・・・・P5・6
4. 人口シミュレーション・・P7・8
～津房の未来っち、どうなるん？～
5. 3つの柱・・・・・・・・・・P9
～福祉活動・若者支援・移住者支援～
6. 新しい取り組み・・・・・・・・P10・11
～部会の活動・人材バンク～
7. 10年後の願い・・・・・・・・P12
8. 計画書の策定過程・・・・・・・・P13
9. 策定委員会の参加者・・P14
10. 津房地区マップ・・・・・・・・裏表紙



小野結乃音さん



佐藤祇老さん

津房小の芋堀り体験



1. はじめに

会長あいさつ

「住民のちからを結集して住み心地よい津房を！」とのスローガンのもと、当協議会の10年間の活動計画書を策定し、活動を始めてから今年で10年目を迎えました。

この間、地区のみなさんのご協力を得ながら、高齢者を元気づける事業、津房っ子がスクスク育つ支援事業、住民のあんしん・安全生活につなぐ事業などを行ってきました。

ただし、直面する課題の多さもあってまだまだ道半ばの状況です。10年目を迎えたのを機に、これまでの活動を総括するとともに、次の10年間の活動指針となる「新・まちづくり計画書」を策定し、活動の輪を広げ、進化させて参りたいと存じます。

皆様のより一層のご協力をよろしくお願い致します。

2019年度 津房地区まちづくり協議会
会長 菅原 維範



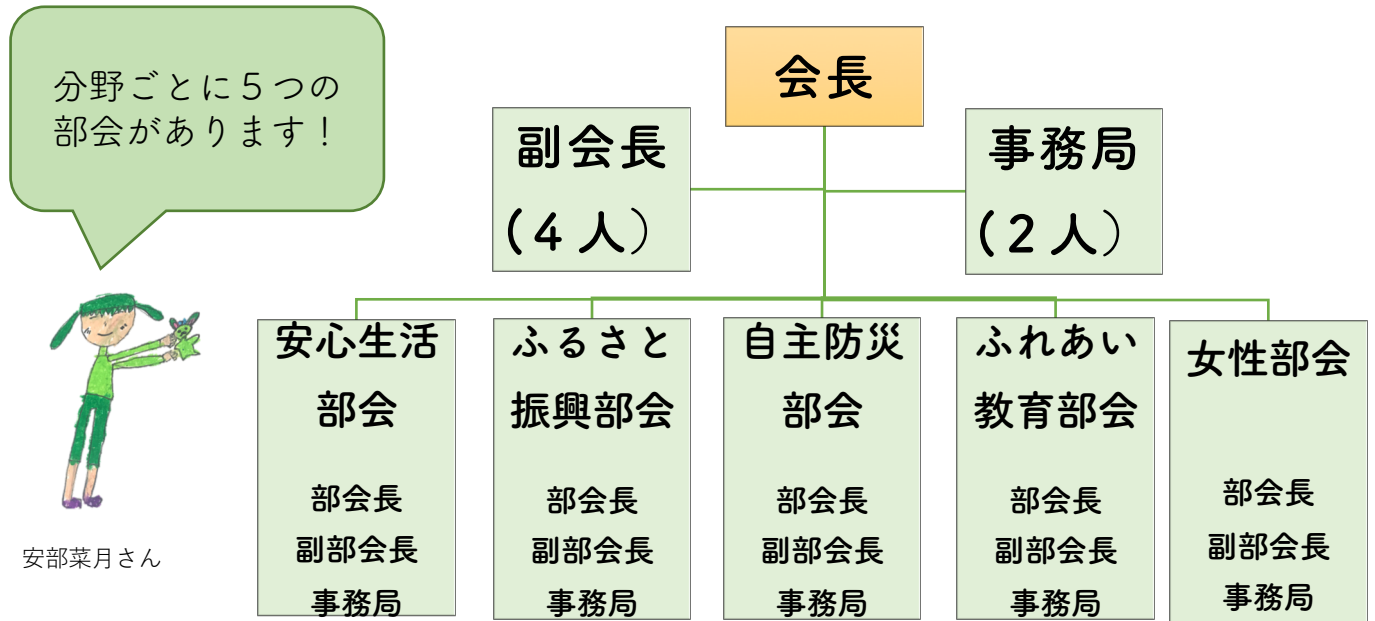
「まちづくり計画書」っち、何なん？

「まちづくり計画書」は、10年後の津房をよりよい地域にするための計画書です。これからの10年、まち協がどんなことに取り組むのか、なんでそれをする必要があるのかが書いてあります。

2019年度、津房のいろいろな人が集まり、住民アンケートや、聞き取り調査を基に作りました。作成には、市役所や地域おこし協力隊、そして大分大学の皆さんも協力してくれました。

2. まち協っち、何なん？

正式名称は「津房地区まちづくり協議会」です。2010年に発足しました。津房地区の住民、いろいろな組織、団体が協力して運営されています。



津房地区の「よろず」相談所
じゃけえ、きちくり！



安部小夏さん

各部会ごとに三役がいて力をあわせて津房を支えています！



3. 10年の振り返り

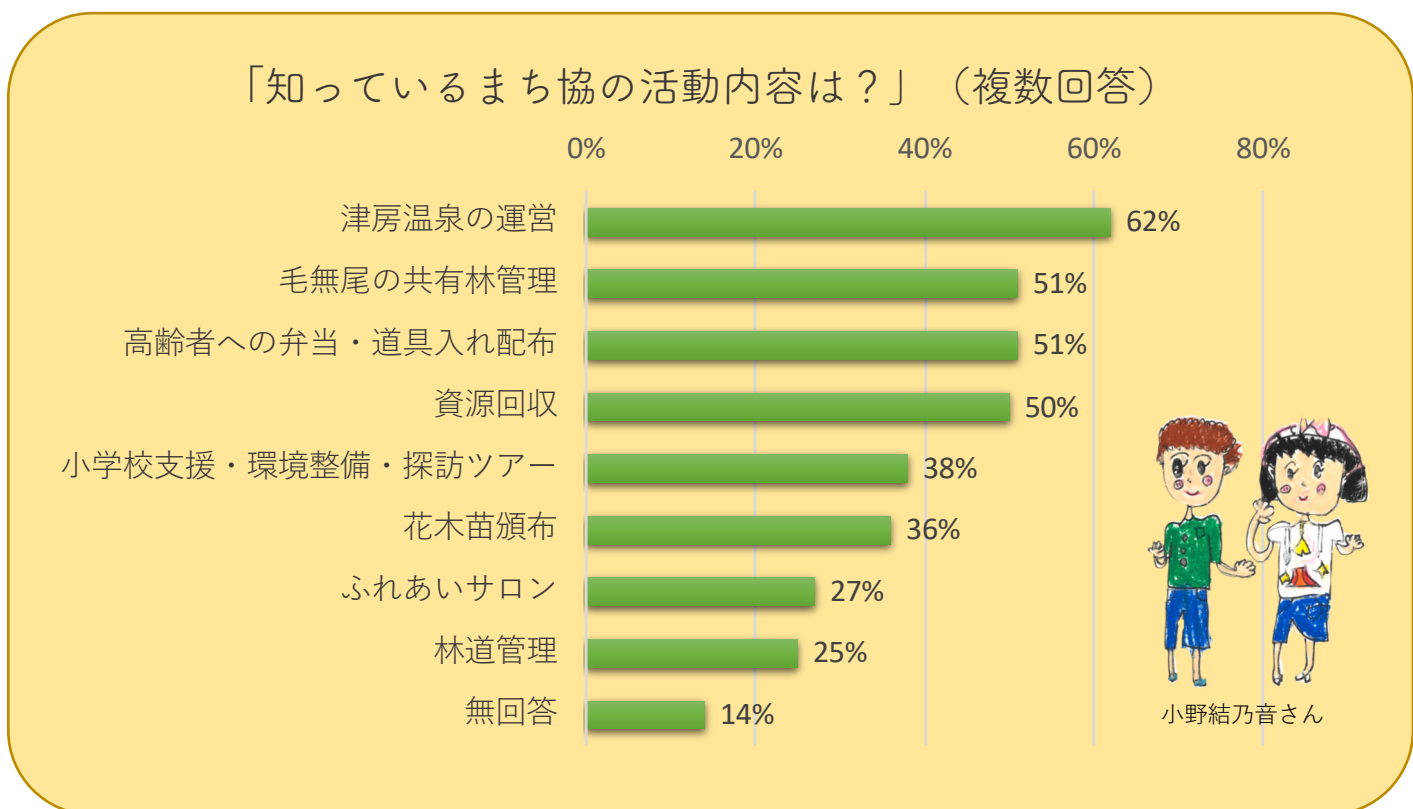
この10年間、まち協は大きく分けて4つの活動を行なってきました。

自主財源確保	<ul style="list-style-type: none"> ・津房温泉の運営 ・資源回収 ・ふるさと納税
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・津房小の教育活動支援 ・運動会、文化祭
高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当・道具入れ配布 ・ふれあいサロン
地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・探訪ツアー ・共有林管理



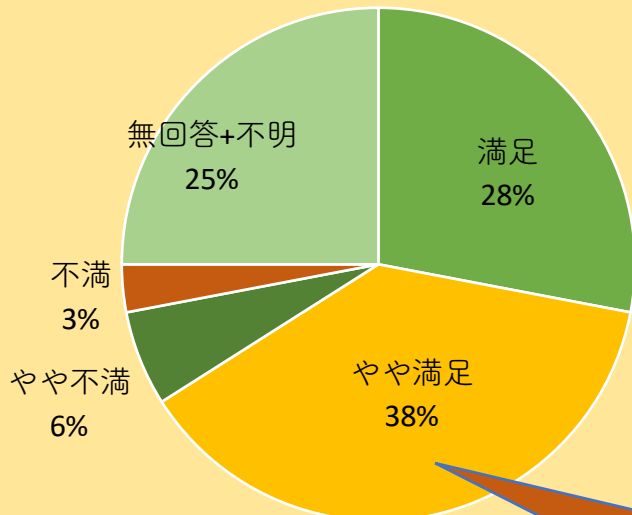
小野 颯斗さん

また、2019年6月の住民アンケートの「知っているまち協の活動内容は？」の項目では、「津房温泉の運営」「共有林の管理」「高齢者への弁当・道具入れ配布」などの項目が多く割合を占めました。



小野結乃音さん

まち協の活動の満足度



10年間の活動を通して、アンケートでは2/3の方に「満足」「やや満足」の回答をいただきました！！

安部小夏さん



しかし！！

ただ、活動の中でも認知度No.1の津房温泉の利用状況は…

- * 週に1回以上……………約10%
- * 月に1～3回程度……………約4%
- * 2・3カ月に1回程度…約5%
- * 年に数回……………約22%
- * 利用しない……………約52%
- * 無回答……………約7%

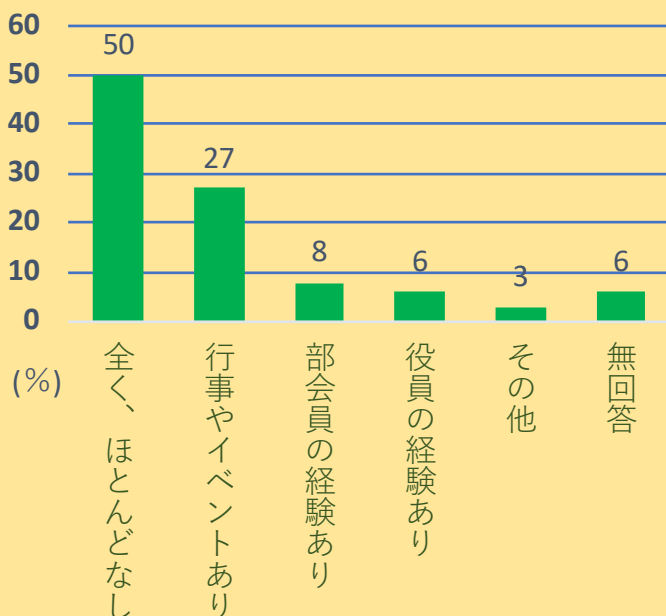
後藤權さん

津房温泉、
きもちいい～
僕は大好き！



という結果に。認知はされており、1割の方は毎週こられています、一方で、全体としてはまだまだ多くないといえます。

まち協の活動への参加経験



また、左のグラフからも分かるように、まち協の活動に「全く・ほとんど参加したことがない」人が**約半数**でした。

その理由として多かった
「多忙・時間がない」
「呼びかけが少ない」

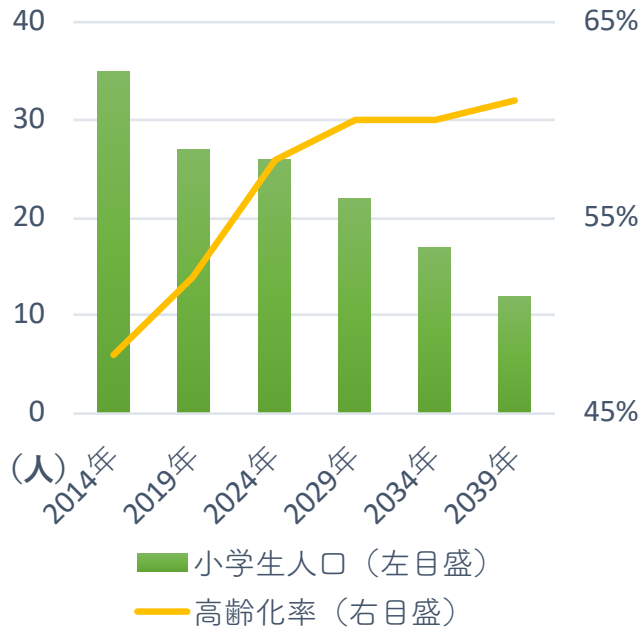
という項目をふまえ、皆さんが**もっと気軽により柔軟に**参加できる活動づくりを頑張っていきます！！

4. 人口シミュレーション

～津房の未来っち、どうなるん？～

このままやったら、
子どもの数はどんど
んへるんやなあ…

津房の児童数と高齢化率



安部美乃里さん

① 現行シナリオ

2014年から2019年の
変化がそのまま続く
場合の推移

右の
3つの
条件を
満たすと

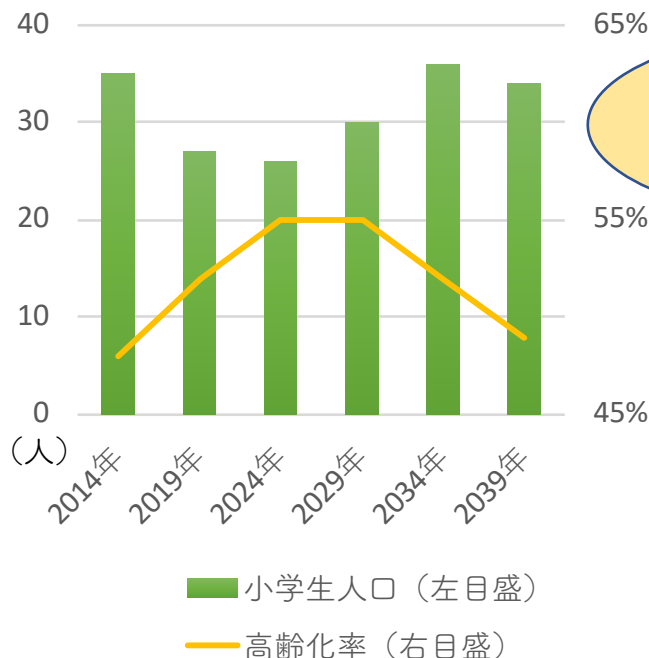
【3つの条件】

- ①津房の女性が一生のうちに1.68人以上の子どもを産み、
育てる環境を作る
- ②働き世代の転出者は5年間で10人に1人だけ
- ③1年に4世帯10人の移住者が津房に来る

小学生が増えて、
高齢化率が
下がっちゃう！

② 改善シナリオ

右上の出生率、若者の
減少率、移住者人数の
3つの条件を満たした
場合の推移



熊埜御堂蒼真さん

左のページの①、②のグラフは過去（2014年）から未来（2039年）までの5年ごとの津房の小学生の人数と高齢化率を示しています。

①「現行のシナリオ」のグラフから、このまま何もせず月日がすぎると、津房の子どもたちは減り、高齢化率もどんどん上がっていくことが分かります。

ですが、3つの条件をクリアすれば、②「改善シナリオ」のグラフのように児童数は増加し、高齢化率は**50%を切るまでに改善**されます！

3つの条件のうち、出生率のクリアは難しくありません。ポイントは**若者の流出を防ぐこと**と、**移住者の受け入れ**です。

流出を防ぐことについては、
子育てがしやすく住みやすいまち、
他の地域の方々が住みたくなるまち
を目指していきましょう！

移住については、津房への移住希望者は多くいますが、空き家が足りない状況です。空き家の掘り起こしがポイントになります！

改善シナリオなら
新しい友達が増えて
小学校も残っていき
そうやな！



佐藤美衣奈さん

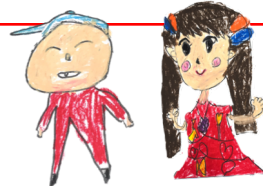
平成30年度 献穀齋田御田植式



5. 3つの柱

ここまで住民アンケートや、人口シミュレーションの結果を紹介しました。それらの結果を踏まえて、これからの10年のまち協の柱として、次の3つの活動指針を設定しました！

福祉活動



左：小野颯斗さん

右：小野結乃音さん

例えば……あんしん・安全で暮らしやすい地区にするために高齢者から子どもまで様々な世代に向けた福祉を行っていきます！

若者支援活動



小島琥子さん

例えば……若者が安心して定住できる地区にするために、まち協がPTAなどに参加し、若者世代との交流の場を増やし、意見を聞いて活動に反映させていきます！

移住者支援活動



後藤耀さん

例えば……移住者が増えてにぎやかな地区にするために津房へ移住希望の人に空き家の情報提供や津房地区の魅力を伝える活動を行っていきます。また移住後のアフターケアにも取り組んでいきます！

